

#### 付属資料4：自由記述回答

<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容にあわせて適度にテレワーク（在宅）を使用できると仕事もプライベートの質も良くなると感じます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web会議の操作慣れなどで、どんどん普及し、生産性も高くなっていくと思う。</li> <li>・一方、それについていけない人（高齢者等）も多くなると思う。（それが不安に思う）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな働き方として、今後も積極的にテレワークを活用していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での「テレワーク」には、感染防止が重要課題であるため原則チーム分けにより実施。</li> <li>・働き方改革としての「テレワーク」と考えれば、各人が自由に実施日を選択することになるともっと、仕事のスケジュールが組立てにくくなると思う。</li> <li>・決裁回付の際、上長が不在であれば余分な日程を見込む必要も出てくる。今でもその調整が課題である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークや働き方が自由になったことは評価する。</li> <li>・会社支給のスマートフォンやPCを持ち帰り、また働き方が自由になったにもかかわらず、勤務時間に関係なく問い合わせが入ることにより、気持ちの切り替えがしづらい状況にある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは集中して作業ができ、効率的と感じている。</li> <li>・ただし、集中しすぎて休憩を取り忘れるため、腰痛・頭痛等に悩まされており、改善が必要。運動不足改善が必要と感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを利用することで時間を有効に活用できると感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社内はテレワークに関する環境は整っている。</li> <li>・（ハードもソフトも）社会全体（他社、公共機関、地域など）がテレワークに更に積極的にならないと、現状以上の効果は得られないと思う。</li> <li>・推奨レベルでなく、強制力のある法制度などの整備が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが定着していくことを望みます。仕事だけでなく家庭や暮らし、自分の時間を楽しめる人が増えていくには必要だと考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤がない事で時間に余裕が持てる。</li> <li>・家族や自分の時間が増えて良し。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間がなくなり助かります。</li> <li>・昼休み中とか家のことが出来て助かります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは子育てや介護をする人にとってはとても便利な制度であることは間違いない。</li> <li>・時間をとても有効的に使え、休暇をムダに取得する必要もない。</li> <li>・子供との時間が増え、小さい時にしてあげられなかったことができるようになって、とてもうれしいです。</li> <li>・通勤もしなくてよいので、通勤上のリスク（感染防止やケガなどの災害（通勤途上災害）、公共交通機関都合による遅刻など）もないので、身体ともにストレスなく仕事に従事できています。</li> <li>・世の中がもっとテレワークに理解を示し、コミュニケーションツールとして広く使われると良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場によって導入割合（推進具合）が違う。</li> <li>・業務がテレワークに合わないからというよりも、上司の考え方が出社主義だとテレワークをしにくい。</li> <li>・「テレワーク＝勤務時間が少ない」と見られ、評価を下げられることもある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身であるため、テレワークの必要性はあまり感じられない。</li> <li>・介護や子供の世話があると、その効果を強く実感できると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク、出社でそれぞれ、仕事遂行、プライベートでのメリット、デメリットがある。</li> <li>・一律ではなく、併用するのがいいのではと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や環境は急速に整ってきている反面、まだ生産性向上や生活の豊かさには結びついてない面がある様にも感じる。</li> <li>・もう少し時間・経験することで、効果は出てくるものと考えるし期待する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事内容により向き、不向きはあるが、続けられるなら継続すべきと思う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信環境が悪い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入当初は、リモート会議のやりにくさを感じていましたが、PCや環境が整い出してからは、ストレスなく会議や打ち合わせができるため、テレワークでの生産性が向上している。</li> <li>・テレワーク時の生産性向上は、環境を整えるところからが大切だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の作業環境が職場に及ばない（ディスプレイサイズなど）。</li> <li>・紙の資料、マニュアルに依存する部分が残っているため、テレワークでは効率が低下する。</li> <li>・ディスプレイが2面あればと思うが、なかなかそこまで整えることは難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の緊急事態宣言下でテレワークをしていると、保育園に子供をあずけることができず非常に困った。当時子供は7歳、5歳、1歳で、夫は医療従事者のため常に出勤。</li> <li>・1人で3人の子供をみながら仕事、昼食の準備、大量の子供の宿題をみていると気がくるいそうだった。テレワークで家にいるんだから子供をみられるだろうというのは違うと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内の通信環境がまだ弱い。</li> <li>・テレワーク時に接続と開放に時間が掛る。</li> <li>・テレワーク時の空調代が結構高くなるのではないかと思う（特に夏、冷暖）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間と場所を自らの生活にも合わせて仕事ができること、通勤時間がなくなることで仕事以外の時間の使い方が有意義になったと実感しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク時に休暇取得を勧められるため、入社時の休暇がとりづらく困る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てをする身としては、労働に使用できる時間が増え、メリットは多い。テレワークのおかげで両立がしやすくなりました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと普及してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入社時に比べると、仕事量が減るので（成果が見えない）テレワーク時と入社時の賃金が同一なのは納得できない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間をプライベート活動の充実に当てることができるため積極的に活用していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをするためには各方面で制限されることが多いため入社しているところもある。</li> <li>・入社時と変わらないパフォーマンスができればもっとテレワークをしたいと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット環境さえ整えばもっと活用したいと思う。</li> <li>・手引き等、紙で管理しているものに関してはテレワークにおいて不便だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の同僚とのコミュニケーションは今まで以上に配慮しなければならないと感じます。</li> <li>・まわりの状況がわかりにくいからこそ、業務の進捗状況の共有が必要だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気が若干落ちる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの読み出しに時間がかかる。</li> <li>・画面以外に、紙で結果を確認したいことがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の進め方そのものを変えていかないと、テレワーク実施してもひずみが広がっていただけな気がするので会社としてのあり方をセットで見直していくべきと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社外との会議では、発言を必要最低限にしぼっているように思える。</li> <li>・お互い発言がかぶらないように気をつけるため、対面の時と比較しても口数は少なくなっている。</li> <li>・また、参加人数は参加の制約がゆるくなるため、オンライン会議では参加人数が増えがちではあるが発言する人は少数であることから無駄が多いように思える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・異動等で新たな職場となった際、テレワークがメインであると、仕事に慣れるまでに時間を要する可能性もあると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの積極的利用は引き続き実施していく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークはよいと思います。</li> <li>・柔軟に選択できるとよいと思います。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、システム開発を行っており、社内外の関係者との調整が多く、対面での対応の方がやりやすい状況である。</li> <li>・テレワークの際は、個人で行う業務を集中させ、効率的な業務を心がけている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「予定外」の接点が起こりづらいため、気づきの機会は少なくなる。</li> <li>・人間関係が出来ていない状態だとより困難も大きい。どうしても運動量は落ちる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは一つの手段なので、万能ではないし悪いものでもなく、一長一短あると思います。</li> <li>・今は導入間もないため、利便性を上げるよう努める時期かと思いますが、強制も制限もなく活用できると良いと感じます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大防止のためにも、働き方改革のためにも、テレワークをより活用すべきと考える。</li> <li>・率先垂範を意識している幹部（上司）が少ない。</li> <li>・貸事務所ではない現職場では、コスト削減メリットがないせいか、テレワーク率が上がらない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の仕事では、テレワークは難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内ネットワークに自宅等からアクセスできるよう、また、社用PCの社外でのネット接続ができるよう整備してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の期間だけではなく、積極的なテレワークの導入を検討してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを積極的に活用した方が、業務効率化と生産性向上が図れると感じます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンのタイピング時の反応の遅さは改善の余地があると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容に応じて柔軟にテレワークか出社かを選択できる環境が良いと思うが、会社の通達次第で職場のテレワーク推奨レベルが変わるので、テレワークがしにくい状況であるのが不満に思う。</li> </ul>
<p>【メリット】 移動時間が無くなり時間を有効活用できる。</p> <p>【デメリット】 上司に相談しづらく、コミュニケーション不足を感じる。社内のテレワークシステムに不具合が生じることが多々ある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司によってはテレワーク＝本当に仕事しているの？という感覚を拭いきれていない気がします。また、人によっては、そう思われても仕方ない働き方の人もいた気がします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は家では仕事がかどらないため、周りの人が「テレワークをしたい」と言っているのに対して楽をしたいのではないかと感じてしまう心の狭さが辛い。</li> <li>・よし悪しは人それぞれだとはわかっているが他の人がどのようにテレワークをしているのかが見えないため、十分な理解ができない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策としてだけでなく、多様な働き方の選択肢や生産性向上の手段として広まれば良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的に出社した方が業務は捗るが、子供が病気の時など、どうしても家にいなければならないときに、テレワークができると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・即効性があり直接的な会社メリットが少なく、導入や実施が進まない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの有無に限ったことではないが、テレワークの普及により、仕事の成果をいかに図るかという視点が求められるようになったかのように感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークのためには極力紙資料を持たないようにしたいと思うが、そのためにはデュアルモニタなどの設備が必要だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性、ワークライフバランスの向上の観点から、積極的に導入すべきと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークでもできることと面着で議論する方がよいことなど、分けて効率の良い手法を選択することが重要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークになって労働時間管理が今の方法で問題ないのか、非常に疑問。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク自体は関係者の状況から有用な手段だと考えるが、自身は未経験なので現状は想定の見解となっている。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情動的にテレワークは嫌い。</li> <li>・ 家で仕事をすると気が散る。</li> <li>・ 仕事の進捗がはかどらなくても、会社にいると仕事をした気になる。</li> <li>・ 無駄話をしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メリデメを整理して導入を推進すべきと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新人教育など、OJTが難しい。</li> <li>・ Web会議中は発言のタイミングをうかがって参加している。</li> <li>・ 「テレワーク推奨」の言葉が先行し、権利を義務と勘違いしている人もいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場勤務なので、事務系の職場のように自由にテレワーク出来ないのが現実である。</li> <li>・ 主なテレワークの使用は、朝学校へ子供を送るために最低週に一回は使用させてもらっている。</li> <li>・ 本当はもう少しやりたいが、朝一の管理職定例会議等があり難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワークは各企業で今後も広げていくべきであり柔軟な生活スタイルを実現することができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料作成のような個人でできる仕事は効率があがる。</li> <li>・ 報告のように話す人が決まっている際はテレワークで十分意思疎通が可能。</li> <li>・ 複数人で議論する場合や、みんなで意見を出し合う打合せでテレワークは向かない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人で進められる業務には向いていると思う。</li> <li>・ テレワークは環境が不十分なせいで、気が散りやすいのが個人的な課題。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務に集中するには適切。</li> <li>・ 対人との何気ないコミュニケーションによる意思疎通、メンバーの体調管理等がおろそかになる懸念。</li> <li>・ 全員が自由に選択できるのではなく、ある程度のコントロールが必要か（出社者が過度な負担になる。管理者がフロアに居ない等）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが落ち着いてもテレワークを行いたい。</li> <li>・ 雑談などで邪魔されない（集中できる）、通勤時間が減り疲れづらい（効率がいい）、気分転換できる、出張しやすい、などメリットが多い。</li> <li>・ 在社時はプレストなど発想を膨らます機会が得られるし、会社の状況は把握しやすい。</li> <li>・ 正直、私の仕事の場合、家でも会社でもやることは変わらないので、出張・プライベート用事の有無や気分などで好きに配分できることが最も作業効率が良くなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワークにより、業務効率が下がると感じることはない。むしろ効率が上がると感じる時も多い。</li> <li>・ 家族との会話が増える一方、会社の同僚との雑談が減り、寂しいとも感じる（チャットによりある程度は解消されますが）。</li> <li>・ 上司（50代）は表向きは在宅について理解を示していますが、雑談時に「在宅率を調べたが、俺は0%だったが、あいつ（部下）は80%。まったく」「（在宅率の高い部下の出社時に）久しぶりだな。年末依頼初めてじゃないか？（実際にはそんなことはなく、当然分かった上での発言。少し嫌味っぽく）」といった発言がよくあり、在宅に対してあまりいい印象を持っていないと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ収束後もテレワークは継続して欲しい。そう考える大きな理由は以下の3点。仕事に集中できる。通勤時間の自分の時間に当てられる。口頭のやり取りに比べて文字ベースのやり取りの方が振り返りしやすい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方の幅が広がる事はとても良いことだと思う。特に、子育て中の世帯や時短勤務をされている方にとっては、1、2時間の用事のために年休を取らなければならない状況からは脱却できるようになったし、非常に良いことだと思う。</li> <li>・ コロナ禍の数少ないメリットとして、大切にしていきたいと思います。</li> <li>・ テレワークを今後も「当たり前」にしていくために、契約書などの紙運用を見直しデジタル化を推進したり、やるべき事をどんどん進めていく必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社内ルールで手続きが手間時間を宣言してテレワークをするので突発案件が多い時はやりにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人と仕事をする際は、顔が見られた方がコミュニケーションの質が上がることは確実だと思う。</li> <li>・ 業務内容が、個人で粛々と進めるようなものの場合のみ、テレワークの方がよい、というケースがあるかもしれないが、割合としては少ないと考えている。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは、環境さえ許せば時間をより効率的に使用できる為、単位時間当たりの生産性が高い何より通勤時間が減ることが大きい問題はネットワーク自宅のネット環境が良くても、会社の環境が悪いと結局生産性が落ちる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出社している際に自然発生的に会話が生まれ、業務の相談ができるようなケースが、テレワークにはないと感じる。</li> <li>・出社している際は、個々人の漠然とした悩み事を普段から共有することができるが、テレワークではできない。</li> <li>・テレワークは通勤時間の削減といった個々人の満足度が上がるうれしさはあるものの、業務推進面では出社の下位互換だと感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に技能系は現場作業が主であるため、計画的な実施は難しい。ある程度デスクワークが溜まったら出来るという様な現状。</li> <li>・管理監督者はデスクワークが主ではあるが、職場を管理するという役割として、テレワークはやりにくい状況である。</li> <li>・技能系はOA環境整備が遅れており、テレワークでは情報が得られない事も多い。</li> <li>・環境を整えば希望する人も多い。</li> <li>・日々の業務内容や家庭の事情により、柔軟且つ効率的に活用出来れば良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無くなるので、積極的に行いたい思いがあるが、家では集中できず、同僚とのコミュニケーションが減るので、移行できないジレンマがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークによって通勤時間が減り、交通事故や感染のリスクが減ることは良いと思いますが、自職場では生産性に関する議論や検証があまりされていないように感じます。</li> <li>・テレワークのための手続きが煩雑だったり、テレワークのための機器の所有／未所有によってテレワーク可否が左右されることも課題だと考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な呼び出しがある職場では利用しにくい</li> <li>・移動時間がないので、仕事や家族との時間を増やすことが出来る</li> <li>・家族の急な看護等に対応しやすい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を進めるうえで特段問題は感じないが、対面で偶発的に起きうる同僚との交流や、そこから発生する新たなアイデアや着想などは確実に減ったと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を定量値化できないため、業務進捗の把握が難しい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ通信環境などが悪い場合もあり、コミュニケーションの取りづらさなどがあるため、環境改善が必要と感じる。</li> <li>・テレワークに対する考え方についても個人差があるため、やりづらさを感じている人もいると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク推進は「テレワークしづらいついていてる人を助ける」意味では本当に良い活動だと考えています。</li> <li>・もちろん面着でのコミュニケーションにもメリットはあると思いますので、コロナが収束した後でも、自身でも上手に使い分けたいですし、会社全体で上手く使い分けたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信能力やモニター等の環境が会社環境より劣っている事が何よりの課題。</li> <li>・光熱費など負担も課題。</li> <li>・重要ポイントをモチベーションとしているが総合的に会社が上回っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通費はかからないが、その代わり水道光熱費やWi-Fi環境は個人負担のため制度やルールが制定されることを望む。</li> <li>・書類が完全になくならない限りテレワーク100%とはいかない</li> <li>・対面でのコミュニケーションには劣り、身体を動かす機会や時間も減るため、生きていく上で人としての何か衰えていきそう。</li> <li>・通勤での移動時間がとられないことが利点。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツールが追い付いていないこと、テレワークツールの帯域幅が狭いため会社と同程度の速度が得られないこと、Web会議をキチンと開催できない（音声や映像をスムーズに出せなかったり、乱れたりする）人がいることが妨げになっているように思います。</li> <li>・現場作業があると、結局テレワークにはできないので、私の所属する部署ではテレワーク率が上がりません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の都合などで、中途半端な時刻に数時間の私用がある時に、テレワークは便利（朝から9時までテレワークし、9～10時離業、その後出社など。今までは10時出社としかできなかった）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web会議に参加はしているが、発言しない参加者が自身含めて多い。</li> <li>・会議のファシリテータが参加者全員からまんべんなく意見を引き出せるようにしたり、参加者自身も積極的に発言するような改善が必要と感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は工場の技術系スタッフで号口ラインの維持改善をしていますが、仕事のアウトプットは現場の姿を変える事です。</li> <li>・会社はテレワークをなささいと言いますが、仕事の対象がすべて現場にあり、現地と現物で関係部署と連携しながら物事を進めないといけない仕事なのに、テレワーク7割とかいわれても限界があります。やれて3ぐらいが限界だと思います。</li> <li>・個人的にはテレワークすると生活全体に効率はよいので、拡大したい願望はありますが、この職種を仕事にしている限り限界ではないでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性がある業務もあると思うが、全てがそうとは限らない。</li> <li>・個人的には、出来れば今までのような出社型の勤務形態になった方が、職場の活気は出るし、風通しの良い職場にはなるような気がします。但し、在宅に向いている業務もあると思うので全否定はしません。</li> <li>・業務内容に応じて、テレワーク、在社勤務を選択していけ環境であれば良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅できれば通勤時間無く業務できるため効率的な業務遂行に今後も活用したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの普及によって柔軟な働き方ができるようになった。</li> <li>・オンライン会議は新入社員にとっては雰囲気をつかみにくく、意見が言いにくいように感じる。ちょっとした質問もしにくいので不便に感じることもある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の技術員室という立場からすると、対現場で現物との仕事となるのでテレワークを基本に考えることはできない。</li> <li>・テレワークでは余計な電話が鳴らない等、集中できる環境であり、通勤時間（往復約2時間）が有効に使えることになるので、メリットはあると考える。</li> <li>・その時の仕事の状況によるが、周りの雰囲気も許せばテレワークはやりたいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動時間が減る分、ライフ・ワーク・バランスには良いです。効率化には疑問です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の非常時にもかかわらず職場風土として出社を求められている（ような気がする）。会社としては積極的な在宅を押ししているが。</li> <li>・テレワークでも業務内容によっては全く支障をきたさないことを上位も理解してほしいが、面着で得られることがあると面着重視な点が残念。それは理解して、使い分けをしていけばよいように思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進め方などをプレストする場合などは、テレワークだと、なかなか意見が出にくい部分がある。また、承認を貰う際などは、面着の方が伝わり易いので、課題があると感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークにおいて生産性を落とさない為には、業務に必要な情報がすぐ取得できるよう、各帳票の電子化が必要。</li> <li>・データを取り扱う量が増えるので、個人フォルダの保管場所（ストレージ）を確保していただけるとありがたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの導入が増えると嬉しい。画面共有、音声トラブルが多いので改善されると嬉しい。</li> <li>・ZOOMのアカウントが欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無いことがテレワークの一番のメリットだと思います。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの利点はあると思うが、顔色や表情を見ながらコミュニケーションをとれたほうがチームの結束を高めやすい面もあり、気安い雰囲気づくりをしにくくなっている面もあると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が小さいとどうしても邪魔が入り集中できない。それを阻止しようとする妻への負担もかかる。</li> <li>・正直仕事に身が入らない現実もあるため私は20年5月に1か月間トライ後常勤を上司に許可もらい継続中。</li> <li>・職場としては積極的なテレワークを呼び掛けているのでフロアは2～3の人しかいない（結果密にならず自動車通勤なのでコロナの危険は感じない）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に進めれば良いと思います。工夫次第です。</li> <li>・ワイガヤが必要な打ち合わせは、面着で実施する方が、効率性もアウトプットも良いです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事とプライベートのワリキリが難しい。</li> <li>・夜遅くまで仕事をしていても、やり残したことがあるまま終わると、家にPCがあるから、本当はもっとできるのにと抱いたまま、寝るまで引きずることがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出社勤務、テレワーク勤務どちらがいいか完全に決めるのではなく、長所短所を理解し、最適な割合で活用するのが大切だと思うので、テレワークの強制は避けてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、通勤時間を無くせること、働く時間選択の柔軟性と生活のための時間への融通性からテレワークのメリットを強く感じる。今後も活用を希望する。</li> <li>・担当する業務内容によりテレワークの適／不適が異なるため、その利用の多寡は業務次第となる。同様な議論から、職場別、担当業務別、個人別に適正な活用状況や利用率は大きく異なるのが必然と思われるため、例えば一律一律の利用率基準などの設定は不適切と考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に推進できており、これからも継続したい。</li> <li>・より創造的なアイデアが求められる議論では、まだ対面のほうが良い。</li> <li>・大人数での会議では、会議の進行役の役割が重要。</li> <li>・ディスカッションが必要な会議では、1人1人順番に話す必要があり、面着よりも時間がかかる。ホワイトボードを使って図や式を書きながらディスカッションが必要な時は、面着の方がやりやすい。</li> </ul>
<p>重視すべきことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを積極的に受け入れる事。機会を積極的に作る事。頻度を上げる事。</li> <li>・時間管理は必用最小限にし、極力行わず、成果で管理する事。かつ、ショートスパンで管理する事。</li> <li>・通信手段を複数持つ事。</li> <li>・テレワーク時の執務環境に干渉しない事。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと育児の関係で夕方帰宅し、夜にテレワークで業務をするという生活をしていたが、職場全体でテレワーク主体になってくると、こういった個人の状況に応じて多様な働き方ができるようになるので、非常にメリットがあると感じる。</li> <li>・工夫次第では勤務地も柔軟に考えることができ、サラリーマンの重い負担である転勤についても良い影響が出せそう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケットWi-Fiのような携帯型ネット契約を結んでおり、テレワーク時は通信量を気にしながら実施している。資料共有やビデオを使うと一気に通信量が増え、通常生活で通信制限に引っかかってくる。</li> <li>・勤務地の制限がなくなれば両親のいるところ（県外）でテレワークしたく、その際は出勤用の短期間貸出部屋など気軽に使えるようになると大変ありがたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一長一短なので、働く本人や職場の特性、希望に沿って運用できることが重要だと思う。</li> <li>・自職場では、部長まで含めた上司がテレワーク推派で、理解もあるため、生産性を上げつつ働けていると思う。</li> <li>・自分でテレワークと在社の仕事配分を考えたり、上司に積極的に情報共有したり、個人的には自律的に働けるようになったと感じており、メリットしか感じない。</li> <li>・若手・新人の育成の面では不安が残るので、今後の課題上司の理解に加え、正しい評価をしてもらえる安心感がないと、なかなか実行できない方も多いのではないかと（幸い自職場はそのような心配がないが）。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに必要な環境（PCが古い）の整備が不十分なことに加え、会社PCが社外で通信できないため、なかなか思った通りにテレワークができていない。</li> <li>・夫婦でテレワークしようとするので普段使用しない不必要なPC購入費用を家計から捻出する必要があり、購入するか悩んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の回線増強が追い付かず、うまく作業ができないことがあり、今後改善を期待します（動画視聴、会議中に画面共有をしながらファイルを操作、マイクミュート操作ができずノイズが凄くなるなど）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動不足になるのだけが弊害。</li> <li>・自分のペースで仕事を進められるので、出社と在宅が今の配分のまま今後も継続できることを希望します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・往復2時間の負担減により家族の時間がもてて良かった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが生産性を向上できるかどうかは微妙。</li> <li>・通勤をしなくてもよかったり気持ち的に余裕ができるのでテレワークが悪いとも思わない。</li> <li>・選択肢の一つとしてうまく利用できると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークで使っている通信が遅いので、もっと早くしたいが、費用が掛かるので、迷っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場でも自宅でもほぼ同様に業務が出来ているのである意味自分は幸せな方だと思う。</li> <li>・育児、介護、居住環境等で不満を抱えながらやっている方もいる様なので、その辺を早く解消してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が減り、家族との時間、自分の時間が増えた人生の充実につながっていると感じる。</li> <li>・周りも人達もテレワークをする人が増え、出張等も低減できており、移動時間を加味したスケジュール調整や、対面至上主義のおじさん等とのための時間も減らすことで生産性向上につながっている。</li> <li>・運動量が明らかに低減しているため意識的な運動を実施することが必要と感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務の承認関係をもっと簡略してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議中に発言をする際に、自身の考え方や発言が、大きく間違っただけを言ってしまうか、などを結構気にしてしまいがちです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が減って、メリットを感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無くなるのがうれしい。</li> <li>・出社時に周囲から聞こえてくる会話でグループメンバーの進捗状況や抱えている問題などを知ることができていたことが分かった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしだと会話が減るので、ストレスの溜まる人は溜まりそうだなと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出社者と、テレワーク者でコミュニケーションを取りやすくする工夫を見つければ推奨していきたい。</li> <li>・アパートなどでネット環境はあるが、業務部屋が無い為、テレワークができない者もいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫁が産休に入るタイミングなど家の事情で在宅勤務でのテレワークが実施できるような自由度がほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを行うと通信環境の整備が必要。</li> <li>・テレワーク時は自由度が高いため業務時間帯の整備をしても良いと考える。（フレックスの進化版）残業の考え方にも変化が必要と感じるが具体的な考えまでは至らない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により電車通勤を控えている中、テレワークにより自家用車の通勤時間が減ったことでストレスが大きく低減された。</li> <li>・業務計画をたて上司と共有することで、極力テレワークになるよう努めた。</li> <li>・テレワークにより運動量が低下、体重増大を経験し、この反省から、現在は仕事を含めた生活全体の計画を立てて健康面を気にしながら対応している。計画の正確性を高めることがテレワークを有意義にするポイントと感じている。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のネットワークが遅く、ダウンロードなどに時間がかかり効率が落ちることがある。</li> <li>・会社から電話などが支給されてないため、外部に連絡を取るときに、自分の私的なスマホで連絡を取ることがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの環境は個人で整える必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを理由に、現地・現物・現認を怠ってよい風潮になっています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは職種に応じて、いい・悪いがあると思います。</li> <li>・設計の職業については、現在のコロナ禍で急速にテレワークが浸透しても効率は下がっていないと感じます。</li> <li>・通勤時間やロケーションにこだわらず柔軟な仕事の仕方が出来る事を痛感しています。</li> <li>・OA機器・システムの環境整備が追いついていない事やコミュニケーションの課題はやはり有るかなと感じます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社同等の設備（特にデスク、椅子）がなく、身体的負荷が高い。設備導入は個人負担の為、簡単に導入できない（税制面の補助、貸出等のサービスがあれば導入しやすい）。</li> <li>・小さい子供が居る場合、断続的な家事等の手伝いにより、集中する時間が継続確保出来ない時がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の通信環境には満足しているが、サーバーとのデータ授受が遅いので時々効率が落ちると思うことがある。サーバー増強をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・机と椅子が必要（腰が痛くなるため）</li> <li>・周りに仕事している同僚がいないため、集中力が落ちる傾向あり。</li> <li>・通勤時間分、自由時間が生まれるため、自己啓発や睡眠時間に時間を当てられる。</li> <li>・通勤しないと歩かなくなるため太る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークはワーク・ライフ・バランスが取れるので良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク補助費用の妥当性が不明（ガス、電気代）。</li> <li>・ネット回線や机購入など、動機はテレワークであっても、「プライベートでも利用する」という理由の補助対象外の妥当性が不明。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外乱がないため、自分の仕事に集中できる。</li> <li>・通勤時間が削減できるため、自分の時間や家族との時間が増えてうれしい。</li> <li>・上司にチャットを入れればすぐに返信がもらえるので、仕事が止まらない。（会社では会議等で捕まらないことがあった）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの導入によって、通勤に発生する時間や交通事故の危険が減り、個人的には今後も続けていきたいと考えています。</li> <li>・定型業務の場合には、集中しやすい環境でもあるので、効率は上がっているように感じる。</li> <li>・ネットワークの環境により、スムーズに会社のサーバーに繋げない時があるので、その点のみ不便である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かす機会が減り、不健康であると感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯によってネットワークの接続状況が悪くなり仕事に支障が出ているため回線の強化をお願いします。</li> <li>・テレワークを行うにあたり事前に申請し、テレワーク後に書類を作成しないといけないことが煩わしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が大幅に減り、平日の業務後にも十分プライベートの時間が取れるためライフ・ワーク・バランスが良くなっている。</li> <li>・コロナ収束後もテレワークは継続していくべきだと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業を集中して実施する際は、テレワークのほうが効率が良い。</li> <li>・上司がパワハラ系の場合、顔を見なくても良いのでストレスが軽減され、精神衛生上好ましい。</li> <li>・夫婦共働きかつ子供が小さいと保育園の送り迎えや家事を分担できテレワークの恩恵が大きい。</li> <li>・入社時のように他部署・同僚と気軽なコミュニケーションをとることは難しい。</li> <li>・入社・テレワークそれぞれ良い面があるため、コロナ関係なくテレワーク制度は継続・自由に組み合わせができるよう、今の働き方を維持してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な情報収集や課題に対する対策ができるが、コミュニケーション不足が懸念</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社側からテレワークに関する漏れのないマニュアルを展開してもらいたい。わからないことがあったときどこに聞けばいいか判断に困る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークへの管理職の偏見が多すぎる。</li> <li>・在宅の多いやつはリーダーを任せられない。</li> <li>・目の前で支配下に置きたいだけでマネジメントしようとしな。支配したいだけの管理職が多いことがよくわかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不便だと思ったことはありません。しいて言うなら、同職場なのに、そんなテレワークが多いの？と言われたことに対して理解がないんだと感じた。</li> <li>・テレワークが残業削減を狙いにされている点が困る。残業して働いた分を、離業などで残業時間を減らす。結果、どんどん時間が無くなり疲弊する。またその関係から、週の半分以上出社できない。</li> <li>・試験などで部下の大半が出社し実作業している職場の場合、現場の状況をテレワークでは見ることができないので難しい。</li> <li>・テレワークは様々な観点から、非常に有効な働き方だと感じます。</li> <li>・職場の理解や制度、情報共有の方法等、課題が多いのも事実だと思います。</li> <li>・テレワークによる難しさを感じているのは、テレワークという環境でも質を落とさず頑張っていこう、という人だけではなく、テレワークに少なからず否定的な気持ちを持っている人がいるからだと思います。</li> <li>・当たり前のようにテレワークで業務ができる環境を作れるような会社が今後は求められていくと思います。</li> <li>・個人的にはテレワークを含む働き方の変革によって単身赴任ではなく自宅やその地域にある会社保有の建屋から業務を行い、本当に必要な時は出張扱いでも十分な環境が整う事を願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で大型連休の移動も制限される中、実家への帰省がなかなかできないのでリモートワークがもう少し認められれば、時期をずらした帰省ができるので助かる。設計は時期をずらした連休にしてもいいのではないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機密の観点からカフェなどの公共の場でのテレワークは難しいことも理解しますが、仕事内容によっては許可して頂きたい。</li> <li>・シェアオフィスやコワーキングスペースでの在宅勤務を許可してほしい（気分転換やメリハリといった意味でよい効果があると思う）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も導入すべきだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代を時間割で支給してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの環境を整備して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に2～3回テレワークができると問い合わせが少ない状況で一人でやる作業に集中できるので嬉しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が減り自分にかかる時間や家族で過ごす時間が増えてよい。しかし出社しなければならない業務（押印、伝票処理）が残っているのも事実。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が短縮でき、非常に助かっている。このままテレワークを続けていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを実施する場合の事前申請は簡易的なもの（直属上司への一報のみでよい）にしていかなければ柔軟な働き方をするという働き方改革の目的は達成できないのではと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが当たり前になれば、仕事の効率化や電子化が進み、無駄な業務（会議室の準備、書類の印刷、郵送等）が減ると感じている。</li> <li>・プライベートにおいても通勤時間が無くなったり、住む場所についても選択範囲が増えるため非常に期待している。</li> <li>・是非、会社全体でテレワークを推進することを望んでいます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの設定等一人では対応できなくて困ることがある。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットとしては、通勤時間が削除されることと、休憩時間に夕食の下準備ができることなど家事がすぐに出来ること。</li> <li>・デメリットとしては、やはり孤独感や疎外感、周囲に置いていかれている感を感じてしまうことが稀にあります。</li> <li>・フレックス勤務とはいえ休憩時間が決まっているため、午前3時間、午後5時間などと差があるのが少し苦痛です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークがしやすい環境が整っているが、突発の業務に対し対応遅れが起りやすいと考える。そのため、およびごしとなる場合もある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは若手育成が阻害されるので嫌。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合などの環境の変化があり、回答者としての視点がぶれていると回答中に感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが前提の生活スタイルになってしまったため戻れない。自身が家事、育児を全て受け持ちながら仕事が通常になった。その分、配偶者が自身の時間を増やしている。</li> <li>・体を動かさないことでの身体的負担がづらい（特に、頭、首、腰など）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをすることで上司や同僚とのコミュニケーションが取りにくくなり、仕事に必要な情報を得る機会が減るため効率的に業務が進められないことに不満を感じる。ただ、その課題をクリアできた時の恩恵は大きいので、情報共有のやり方を見直すことでテレワークを積極的に利用できるようになるとよいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務での残業調整がありきになりつつある。残業ゼロ必達させようとするのは分かるが、上司（G長など）が部下の業務内容（ウエイト）を理解せずに言っているだけなので、辛いのは下の人間。自分で調べられる分に関しては問題ないが、トップダウンで展開が欲しいものは後手後手で、ようやく情報展開してもアウトプットを急がせる。</li> <li>・現状自分がやっている仕事は雑に扱われている。在宅するとそれらがさらに疎外感として感じる事もある。</li> <li>・何か“働きがい改革”に連動し在宅推進されているが、結局は人件費削減目的が強い気がしてならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークでも隔週での出社はコロナの発病周期と同期するので意味ないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司・部下共に業務管理や時間申請等に多くの時間を必要とする会社のシステムのため、その時間を低減出来ればテレワークのやりやすい環境が出来ると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが定着している職場と、そうでない職場があって、私の職場はそうではないのでテレワークしづらいです。以前は週2程でやっていましたが、1日おきに出社すると、そのたびに「久しぶりだね」「今日はいるんだね、珍しい」と言われました。同期の話を知ると週1くらいしか出社していないのが普通みたいな人がたくさんいて不平等に感じています。私の部署ではテレワークしている人＝仕事をしていない人、みたいな考え方があるように思えます。とてもテレワークしづらいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間がなくなり、自分の時間を多く持ててうれしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは働く場所を自由に選択できるのが長所のハズなのに、この会社だとなぜか自宅でしか実施できないのは不便だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・凄くやりやすい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフ・ワーク・バランスが良くなった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機密情報保持の問題はありますが、ワーケーションができるようになると良いと思います。</li> </ul>

<p>自分が感じたテレワークのメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間がなくなるため自分の時間が長くとれる（出退勤で合計1時間半ほど）。</li> <li>・交通事故のリスクが減らせる。</li> <li>・着替え、身だしなみを整える時間がなくなり、自分の時間が増える。</li> <li>・好きな時間から仕事ができる（例：9時に起床して9時半から業務開始）、休憩も出社時よりも好きな時間に取得できる。</li> </ul> <p>テレワークのデメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出社時は突発業務の対応があったりするが、テレワークだと一つの業務に集中できる。自分が感じたテレワークのデメリット</li> <li>・テレワークでできる業務が少なく、時間が余ってしまう時がある（自分がテレワーク時）</li> <li>・直接的に教えてもらいたい業務・作業方法があるときに上司や先輩が不在だと作業が滞る（自分が出社、周りがテレワーク時）。</li> <li>・印鑑を押してもらいたいときに上司がいない（自分が出社、周りがテレワーク時）。</li> <li>・ネットワーク環境が不安定な時は作業が困難になってしまう（自分がテレワーク時）。</li> <li>・家にネットワーク環境がない場合、設備を導入する必要があり自費で購入しなければならない（自分がテレワーク時）。</li> </ul> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークでできる作業の場合、出社する必要がなく無駄を省ける、時間を有効に使えるのでこれからもテレワークを続けていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは今後も活用していきたい。</li> <li>・月に何回か出社はありだとは思いますが、個人の裁量に任せることで住む地域も縛られずに働けるのではないかと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の都合で出社率を変更されるので、基本テレワークにしてもらい、必要なとき出社にしてもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが進むにつれて、仕事が個人につくようになり知識を得る機会が減っている。OJT等もできておらず、職場としての仕事達成能力が落ちていき、できる人に仕事がつく負のスパイラルに陥っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをしている人は、自分の知る限り、タバコが吸いたい、家族と遊びたいなどの仕事以外の理由で、仕事に集中出来ていないと感じるため、テレワーク=サボりの印象がある。</li> <li>・実際テレワークの人のフォローで在社の人に対応する業務が発生することが多く、全体の仕事の質が低下する要因ではないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークには賛成です。無駄と感じる業務が減ったため、残業代がコストカットされているが、残業が0となっているので、何かと収入が苦しい状態が続いている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをするためには、自宅の環境を整える必要があり、そのための部屋がないため、毎回準備と片付けが少し大変です。</li> <li>・家族の世話もあり、便利な面とそれに振り回される面があったり、会社でも出社している人に色々依頼をする事もあり、少し難しい部分もあります。</li> <li>・テレワークができる（やれる）仕事なのでその分は利用している次第ですが、技能系職場はテレワークができないため、テレワークが遊びながら仕事しているという認識はあるようです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをしていない人は、テレワークをしている人のことをどのように感じているのか。</li> <li>・テレワークをしたいのにできない職場の方との平等性はあるのか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくテレワークをするとサボる人がいると言われるが、それは本人の問題以上に部下に最適な仕事を与え管理してない上司の責任である。</li> <li>・在宅でサボる様な人はそもそも会社でも時間を持って余している場合があるので、その人達を見て、“テレワークは良くない”と考えるのは間違っている。</li> <li>・テレワークの様な柔軟な働き方を提供する事で、介護や育児または通勤が長い人にとって働きやすくする事は会社にとっても有益に繋がるはずである。</li> <li>・テレワークをする事で今までの慣例慣習を見直し、業務を見直す事が現に出来ている。</li> <li>・今後もテレワークを推進し従来のやり方にとらわれない発想で仕事に取り組めるようにすべきである。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・CAD系の操作にて通信不具合が多いため、効率が悪い時があることから入社した方が良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ終息後もテレワークがフレックス勤務と同程度に普及していると良いと思います。</li> <li>・通勤にかかっていた二酸化炭素の削減など、副次的な効果も会社の成果にカウントできると、微力ながら会社のインセンティブになるのでは？</li> <li>・人によってテレワークにかかるコストが異なる（最初からネット回線が有る家、無い家。場所の有無など）点など、働きやすさを改善できる事は多いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の組織長がテレワーク＝サボりと公然と言っていたので、なかなか踏み切れなかった。</li> <li>・会社にいるから仕事ができるという考えを改める必要がある人間が多すぎと感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークという言葉自体に抵抗が有る。もう日本語として定着してしまったのか？ 在宅勤務で良いのではないかと思う。遠隔での勤務はまた少しニュアンスが異なるとも思うが、リモートワークと行ったほうがまだしっくりくる。</li> <li>・時間管理に関しては、もう少しテレワークに則したものに変わっていく必要が有ると思う。そもそも、時間管理が必要かどうかも含めて。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは便利だが、自宅にテレワークに適した環境がないのが難点。</li> <li>・会社も、機密の問題から自宅以外の場所のテレワークを認めていないと思われる。</li> </ul> <p>※最近になって、帰省時などは認めるようなコメントもあり不確か。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が減ることが非常に助かる。</li> <li>・職場コミュニケーションで課題もあるが工夫次第だと感じる。</li> <li>・運動不足となりがちなので、自己管理がより必要になると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食費や光熱費の負担をもう少し手厚くしてほしい。</li> <li>・テレワークに適した情報機器を支給してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなり、サーバへの接続環境は良くなったが、体感的にはあと一步の感じがあるので、改善を希望。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間や会議場所への移動が削減できてよい。</li> <li>・ホワイトボードを使った議論などがもっとスムーズにできれば、あえて対面で会議などしなくても十分なコミュニケーションが取れると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員など偉い人に対してほど対面にしなければならないという風潮がある。</li> <li>・対面・オンライン併用会議だとオンライン側が非常に環境が悪くなる（会議室内は容易に会話出来るのでオンライン側が集音マイクで音声拾えなことが多く、それでも会議は進行してしまう。対面側がポインターで指示しても見えない）。なので、役員であっても対面を避けてほしい。もしくは対面・オンライン併用時は全員がイヤホンマイクを使用してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化を嫌う日本社会において、コロナという外乱により生じたこのテレワーク推奨の流れは働き方に多様性をもたらす結果となり、コロナ対応と限定せず、コロナ終息後も一つの選択肢としてネガティブ要素なく残り続け、従業員のQOLを高めることとなればよいと考える。またそれを管理監督者の立場として推進していきたいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間の負担が無いことが最大のメリット。</li> <li>・Web会議システムも充実しており、面着でなければならない打合せ（現物を見ながら触りながらが必要な打合せ）以外に、テレワークのデメリットはあまり感じない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社としては世間体もあり、テレワーク環境を推進しているように見せているが、上位資格者のテレワーク実施率が非常に低いため、出来る環境にある部下が実施できない雰囲気になっている。</li> <li>・承認方法が紙ベースの物が多々あり進まない要因になっている。</li> <li>・自宅でのテレワーク環境を整えるのに相応の機器を購入する物があるが、もっと会社から補助を出して頂きたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teams会議を開催していると、会議転送された知らない人が異常に増えて参加しているが、何も話さないのが本当に会議参加が必要か疑問になる。会議室参加に比べて不要な参加者が出ている。</li> <li>・テーブルでやっているのでも腰が痛い。会社から椅子とテーブルを準備してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが多いと足腰が弱り、健康面で不安がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事に集中できてよい。</li> <li>・集中しすぎて残業時間が増える（自己管理が重要）。</li> <li>・開始からの面直の指示があるが、あまり有効とは思えない。</li> <li>・2週間に1回の面直より、毎日の定例情報交換が有効。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間を今まで以上に有効に活用できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も利用したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面・オンライン併用の会議は音質が悪いので全員オンラインにしてほしい。</li> <li>・管理職が出社するので、同じく出社している人に良くも悪くも仕事が振りがち。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、社会全体のテレワーク実施率が上がる事を望んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種に限らず、テレワークに向く業務もあれば向かない業務もあると思うので、個人の事情と裁量でとうまく使い分けられると良いと思います。</li> <li>・今後、地域に縛られない人員採用が可能になれば組織の活性化にもつながると思うので続けば良いなと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークできる業務とできない業務がはっきりしている。</li> <li>・テレワークではCADや資料作成にあてて、残業をテレワークの日に調整している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをしている自宅が集合住宅のためか、時間帯によって通信環境が大きく悪化し業務効率に悪影響が出る等、個人で解決することが難しいインフラ上の問題がある。</li> <li>・私自身の業務はテレワークでもほぼ問題なく進められる内容ではあるが、たまに出社した際に対面で同僚と話す時、テレワーク中には知らなかった情報を得られ、100%テレワークでは会社の流れに置いて行かれる懸念があると感じた。</li> <li>・現状、子どもが小さいためテレワークを余儀なくされている面もあるが、その分平日に家族と交流する時間を確保できており、家庭と仕事の両立のための手段としてテレワークは非常に有効と思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間を考慮すると、業務の内容に応じてテレワークを今後もうまく活用できれば、より家庭との両立がしやすくなると思うので、現状のコロナ禍のテレワーク推奨が収束した後も、活用しやすい環境が続くことを願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の環境がテレワーク向きでなく（ちゃぶ台サイズのデスクと座布団）身体的に負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造現場を持っている部署のためテレワークがあまり推奨されていないと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを途中でやめたが、理由はセキュリティの関係で会社のデータ（ただし、一般の人が頻繁に見るデータではない）を見れなかったこと。会社のデータを自動的に取得し、業務を自動処理するツールを作成していたときだったので、やむを得ず中断した。ので、テレワーク時にもデータの閲覧ができるが良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤負担が減るのは大きなメリット。</li> <li>・出社対応必要な業務もあるので、業務調整さえうまくできれば働く環境がよくなると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークで家族の気遣いが増えた気がしました。昼食の準備やテレワークの邪魔をしないようにするなど。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的には、うまく使えば、生産性も上がると思うので、ぜひ続けてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方の1つであり、本人の成果が最大限に発揮できるならありだと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの声がない、室内温度調整が容易などテレワークの方が集中できることがメリットと思う。</li> <li>・必要があれば出社すればよいだけなので、あまりデメリットは感じない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世間一般に比べると当社従業員のテレワークに対する意識はやや慎重、保守的で仕事の成果より印象を気にする傾向があると感じる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の質が変わらない体制を整える前提ではありますが、テレワークの比率が向上した際の移動費削減+移動時間削減分（出張含む）で企業側および社員側に年間での程度メリットが出るかを定量的に示していただくと、コロナ禍が過ぎた後も、定着していく取り組みですし、定着していかなければならない取り組みだと思えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場のメンバーへ内線で連絡取りたいときにとれない。</li> <li>・現場のメンバーはteams立ち上げていないことが多いので、結局、自分の携帯で外線や相手の携帯へ連絡することになる。内線連絡できるツールがあると、より在宅勤務しやすくなると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務者のアウトプットが出ているか、評価が難しいと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが蔓延しなかったら、10年後もテレワークをしようという雰囲気はなかったと思う。</li> <li>・個人的にはテレワークは賛成だが、隣のグループは特殊な機材（試作エンジンを動かす動力装置等）が必要なため、結局、部レベルの意見となると（表向きは、テレワーク推奨と言っているが）テレワーク否定派になっていると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナによって、テレワークができる選択肢を持てたことはよかったと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間を仕事に充てることのできるため、非常によいと感じております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、テレワークが正義のような報道や世論をよく耳にします。</li> <li>・テレワークにも一長一短ある事を理解した上で、やりたい人がやりたい時にテレワークができる環境を作る事が大切だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと積極的にテレワークを取り入れるべき！（環境を整えただけではダメ）</li> <li>・今の職場はテレワークほぼ0%!!</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤、職場にいることのストレスから解放されるので、出社は週1日程度に減らして今後もテレワークを継続したい。そのためにも文書の電子化、通信品質の向上が望まれる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の送迎で時間制限があるため、早朝や夜間に仕事をしたい場合、また子供の体調不良時などはテレワークは大変ありがたい。</li> <li>・現状は、メンバーに相談しながら進める業務や、上司（室長以上）の承認を都度得なければいけない業務は在宅だと難しいという印象。</li> <li>・毎日出社しているため、電話番号や荷物受取の負担が大きいと感じるときがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場と密接に関わる生技にはかなり難しいと思っています。</li> <li>・生準段階など一部自宅でできる業務を貯めて、一時だけテレワークなどは効率が良くなると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・突発のチームス通話にも対応できるよう、ヘッドセットを全員に配布してほしい。</li> <li>・オンライン会議に対し年配の上司が理解を示せるよう、会社側からプッシュしてほしい（やはり、部室長級の方々が出られる会議には若手は対面参加しなければならないという雰囲気がある）。</li> <li>・テレワークに伴って増加している個人負担金（電気、通信）に対し補助が欲しい。</li> <li>・紙媒体業務の改廃について、各部門で担当チームを決めて専業で実施できるように会社側で調整してほしい(テレワーク後に出社した際、デスクに紙媒体の書類が溜まっていて、その処理に工数がかかる)。</li> <li>・社外者とのやり取りがかかせない部門については、会社側で個人携帯電話を用意してほしい(社外者から、会社の固定電話か私の個人携帯かどちらにかけていいか悩むと言われる)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料作成等ははかどる。</li> <li>・部下とのコミュニケーションも毎日Teamsで実施しているため、問題ない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・向き不向きがあるので、希望しない人には強制しないほうがよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークができる指定場所が限定され過ぎていて自由度がない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク時、社外の方へ電話する際は、個人の電話となるため、通信機器の貸出しや通信費用補助が進めば、テレワークへのハードルが下がると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをして、仕事とプライベートの時間を効率よく使用したいが、業務上、製造現場へ赴き、設備を調整したり、現物観察することがほとんどであるため、やりたくてもできない。</li> <li>・上司から積極的なテレワークの推進がないため、テレワークをしたいという意見が言いにくい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の職場は、設計者や製造現場とのやり取りが頻繁に必要なため、テレワークを行うには難しい環境にあると感じています（現場で現物を見ながらでの対応が多い）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ収束後も常にテレワークができる環境にしておくべきだと思う。</li> <li>・一部の年配者のテレワークに対する根拠のない悪印象を直させるべきだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が病気になり自身は健康な時、インフルエンザなど新型コロナ以外の病気の場合でも出社せずにでも業務につけるのがいいと感じているところです。</li> <li>・職場への感染予防に努めるためにも、疑わしいときは周りのメンバーに迷惑をかけない様に、在宅勤務制度を活用したいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに対して、あまり良い印象を持っていない方が多いと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外乱誘惑因子が多く、集中しづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場のある職種のため、なかなかテレワークができない。</li> <li>・自職場では派遣社員にテレワークを認めていないため、部下に派遣社員が居るとテレワークを選択しづらい。</li> <li>・自職場ではテレワークそのものは定着しているが、テレワーク比率は低いいためテレワーク特有の問題があったとしてもみえていないだけかもしれない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備しても「できる人はして良い」程度で個々の働き方を選択させてくれる会社のスタンスは非常に良いと思う。これを継続して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配属や異動直後で、人間関係の構築度や仕事の習熟度が低いうちはテレワークでなく面着での仕事が必要だと感じます。</li> <li>・人間関係も構築され仕事も習熟されれば、働き方のひとつとして、テレワークを積極的に活用してもよいかと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司や関係者との意思疎通が随時できない点に不便さを感じる。</li> <li>・職場的に決裁など対面での説明を求められる場面多く、相手側のスケジュールを調整しながら出勤日をやり繰りしている点が煩わしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の業務内容ではテレワークできない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の定型業務を実施している時はテレワークも良いが、会議等不特定多数の相手がいる場合は面着にて実施が場の雰囲気・相手の表情が分かり易くその場で問題解決が出来やすい、また会議後に直接話ができる点は利点大きい。</li> <li>・自身の週次業務計画に合わせてテレワークと出社を組み合わせる事が重要だと感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの推奨と言うが結局、そこまで職場自体が整備・コントロールされていないと思う。テレワークを実施している人としらない人が極端であると感じる。お家の事情もあると思うが。会社として、どこまでテレワークを推奨しているのかわからない。テレワークという割に職場で何らの対応があるわけでもなく、不思議と思うことが多々あります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題なく業務は遂行できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出社しなければできない仕事があるときは出社して、ドキュメント作成など自宅でできる仕事が多いときはテレワークを活用することが理想であると考えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオのON/OFFで印象が変わる（ON時はより親近感が出る）。</li> <li>・テレワークの指示、命令が出ないと中間管理職は出社組になる（役員⇒部長⇒次長⇒課長で同様の関係）。⇒ 一方で、管理職になればなるほどテレワークで出来る仕事（特に部下からの報連相）に支障が出る/範囲が狭まる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度が遅い時があるのがネックだと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内のエネルギーインフラ改造・構築を手配することが主な業務なので、現地で工事業者・関係者と打合せをする必要が多くあり、完全なテレワークに移行することが現状困難。</li> <li>・自宅（賃貸）でテレワーク時の居場所を確保することが困難。子供も家にいるので、リビングでは仕事ができず、他の部屋は寝室しかない。テレワークを推奨するなら（環境を整えるための）継続的な手当てが欲しい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに対する理解が低く、テレワーク≡仕事をしていないと思込んでいる人がいる。適切な業務内容であれば、より集中でき効率的であるにもかかわらず。</li> <li>・対社外との打ち合わせ時に先方からの質問に対し、対面していれば、誰が答えるとか、どう答えるとかのニュアンスを空気を読んで答えたりすることがあるが、テレワークの会議となるとそういうことができなくなることも実感しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が外出するときは積極的に活用しようと思うが、特に子供が家にいるときはあまりテレワークを活用したいと思わない。</li> <li>・テレワークだと仕事を終えてもなかなか気持ちの切り替えができない場合があり、ストレスに感じるときが稀にある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク実施に関しては職種にもよるが、職場の風土による影響が大きいと思う（その気があれば業務も寄せ止めなどをして、月に数回は実施できる気がする）。</li> <li>・職場では緊急事態宣言中でも在宅をしている人はほほいかなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいへん効率的に業務ができるので今後も推奨して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部との電話に個人の携帯を使っており、また電話対応等の負担が出社している人に集中してしまうため、PCで電話できる環境があれば望ましいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事とプライベートの時間の取り方がやり易くなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社外との連絡ツール（電話等）の充実。</li> <li>・問合せなど文章では伝わりにくい場合がある。</li> <li>・テレワークでは通勤時間を気にしなくて良いのでありがたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィスが欲しい。まずは、自宅から近い工場が良いので、設置して欲しい。</li> <li>・自宅より仕事が断然はかどる。通勤時の感染リスク低減だけでも効果があると思う（サテライトオフィスだと、外乱が少なく、土日が一番仕事はかどるという状態に近い）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランスに関しては非常に効率的で良い。特に、子どもの見送りや出迎えができることで子どもたちの情緒にも好影響とを感じる。</li> <li>・「出社すること＝仕事をしている」という認識の人もまだまだ多い（特に年長者）ため、そのあたりの意識改革が必要。</li> <li>・職場（グループ）のメンバーはチャットの活用にも慣れてきているため、気軽に雑談や相談もできるので問題ないがツールの活用状況は個人差がかなり大きいので、今後異動の可能性等ある場合は若干の不安有。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社通信系インフラのさらなる高速化が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が短縮されるのが一番大きい。出退勤の為の運転の疲れは意外と蓄積している。その他、食事の為や飲料を買いに行く時間、トイレに行く歩行時間等、各時間が短縮されるのは魅力。</li> <li>・テレワークによって追加でかかる費用、暖房費、水道代、電気代などのテレワーク手当が全くないので、ある程度の手当ては欲しいと思う。組合経由で会社側の意見を確認したが、会社としては手当てを払う気はないと断言しているそうで、嫌ならテレワークをやらなくて良い、という姿勢だという事なので、コロナ禍の様な非常事態時は会社側がもう少し柔軟に対応した方が良いとは思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤手当や昼食補助が減っているのだから在宅勤務手当を導入してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張の際などに、在宅勤務とあわせることで勤務時間の調整がしやすくなった。今後も月に数回ではあるが継続して行いたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下のテレワーク（感染防止）と働き方改革のテレワーク（多様な働き方）の目的の違いがごっちゃになっていて、テレワークのあるべき姿が分かり難いと思います。</li> <li>・テレワークが必要か不要かの議論が多く、どうすればテレワークをよりよく活用できるか（生産性向上・人材育成）の議論が少ない気がします。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場が強固な組織であれば有効と思いますが、成り行きで落ちてくる日々の仕事を処理する社内文化の場合、人事評価では間違いなく損をするので、個人の事情とのトレードオフが正直なところですよ。</li> <li>・個人の選択肢が増えることは歓迎すべきことと思いますが（評価を下げてでも個人の事情を優先せざるを得ない人はいるでしょうし）、フレックスタイム制のように、形骸化しているところが多いのではないかと思います。</li> <li>・突き詰めれば、大きな目的を共有できている組織か、そうでないかということだと思いますが、業務効率を上げることは上司の評価基準に入りません（組合員は残業代も減りますし、個人の目的とも相反する）。</li> <li>・あえて言えば、ヘッドセットとチャットが普及する速度が速まったことがよい効果だったと思います（出社業務時に効率が少しあがった）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が長くその移動時間ももったいないのでテレワークをしたいが、業務内容的になかなかやれない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の内容によってテレワークが出来る人と出来ない人がいるのは不公平だと思う。</li> <li>・一部の人が毎週のようにやっているのに、出来ない人は出社を余儀なくされる。</li> <li>・今時紙の資料がメインとなる仕事だと出来ない。</li> <li>・やるなら一部の部署だけでなく、もっとシステム化・電子化するなりして全体的に推進すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク時は集中して考えたい仕事はかどるため有効。一方で職場の連帯感などを感じるものが減ってしまうため、出社とのバランスを取っていくことが大切。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も実施していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと職種を考慮して欲しい（テレワークを実施していない生産現場を相手にする業務がメインだからテレワークは無理）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに適している業務は今後も継続的にテレワークへ移行すべき。</li> <li>・対面重視で参加に意義があるような会議は参加者を極限まで絞り、必要に応じてリモート参加にする。</li> <li>・生産部門は現場があるのでリモートできない仕事もたくさんあることは理解しておく。</li> <li>・対面のコミュニケーションの方が議論はしやすいし、意見も活発なので、企画部門の仕事でも出社してやるべきことも多い。</li> <li>・企画書を書くなどの仕事はテレワークの方が断然効率的。</li> <li>・他部署など顔を知らない関係者を巻き込んだり、知りあつたりするのはテレワークでは難しい。</li> <li>・プライベートのSNSでは他社との交流が盛んでも、会社の関係者だと対面で顔を繋がないと不安になる。ここは企業文化が保守的だと難しいのかもしれない、もっとオープンにしていかないと、テレワークが閉ざされた環境を助長してしまう気もする。</li> <li>・会社の状況、現場で起きていることを体感するのは、テレワークでは難しい。</li> <li>・テレワークと在社のバランスを個々の組織や個人で追及するのがよいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在社者の負担が増えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中できるので効率的なことが多いと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの日は、家から出ないようにしているので、運動不足で、太陽の光を浴びる日も減ってしまう。体には、良くなさそう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音嫌悪症という他人の立てる音にもものすごいストレスを感じる持病があるためテレワークは救いです。</li> <li>・早朝から始業して夕方に終業できるため明るい時間帯に自由時間が増えジョギング等趣味に時間が使える。</li> <li>・同僚とチャットやTV会議等で気簡単にやり取りができ、あまり業務に支障は来さない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務は出社や帰宅の時間だけでなく、会議室への移動も不要で、効率がいいと感じる。</li> <li>・評価する上司はほとんど在宅勤務をしないので、在宅勤務への配慮、理解が浅い。欧州とかでは管理職が在宅勤務をしていると聞けるが、私の部署の管理職はほとんど在宅勤務をしていない。今後、社会の変動に対応できるのか心配になる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務時の申請帳票や手続きが度々変わるため、一度在宅勤務から離れてしまうと今どうなっているのかを把握しづらい。その手間から、在宅勤務を選択しづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場を離れて出来る仕事は限られる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは通勤時間の短縮など嬉しい面もあるが、仕事柄出来ない方や、同じ職場で入社されている方もいるので、あまり強く、推奨してほしいと言えない部分があると思う。</li> <li>・業務的に現物確認しないとイケない業務なので、テレワークは必須な時期のみにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みの時間が一律固定（12:00～13:00）なので、テレワークでフレキシブルに仕事がしにくい。12:30～13:30など、昼休みの時間をずらしても問題ないようにしていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にテレワークだから何かが進まないという事はないが、部下を持ち、他部署との協議、打合せが頻繁にある中では出社が効率良いと判断し、現在はほとんどテレワークを実施していない。</li> <li>・仕事柄、メンバーが現場の業務が多くなる時は、メンバーもテレワークができないので、業務によってはテレワークが不向きという時はある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境が許すのであれば積極的に取り入れたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子を持つ親は利便性がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間を減らすことができ、効率的な働き方ができるので歓迎である。</li> <li>・業務場面によって、対面とテレワークを使い分けることが良いと考える。</li> <li>・運動不足への配慮は継続して必要との認識である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○：柔軟な働き方ができ、時間にも余裕ができる。</li> <li>○：邪魔？が減り作業効率が上がる。</li> <li>○：優先度の低いWeb会議であれば会議中でも作業が可能。</li> <li>×：会社携帯の支給がないため個人携帯での自己負担が増える。</li> <li>×：通信環境により若干生産性が落ちる。</li> <li>×：上記により他職場からの在宅への理解が得られにくい（出社を要求される雰囲気）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は半導体の問題もあって入手が難しいようだが、メンバー全員分のノートPCが確保出来ておらず引き続き要望中。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無くなり、勤務時間もある程度柔軟に決めることができ、効率良く仕事が出来ようになった。</li> <li>・今後も継続的に、社会全体がテレワークを推進していってくれれば嬉しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作業に集中する際はテレワークが効率が良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出社時と比べて通信速度が遅い。</li> <li>・テレワークが可能な事務職だが周囲のメンバーはあまりテレワークを実施していない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署の担当者内線に電話するも、「在宅しています」という理由で連絡が取りにくくなることしばしば。メールではなく、音声で素早くやり取りがしたいができない。</li> <li>・チャットだと反応ない場合も多く、込み入った要件を文字でやり取りするストレスを感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間や通勤準備時間が減り、時間に余裕が持てるようになりました。</li> <li>・働き方に自由度があり、大変有難い制度です。</li> <li>・メンバーからの問い合わせにすぐに返答しなければいけないと思ってしまうので、ほとんど席を外すことができず、気はずっと張っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の通信環境が非常に悪いので改善してほしい。通信環境が悪いがために打ち合わせのある日は出社しており、その結果あまり在宅勤務ができていない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な働き方としては良いと思うが、職種によっては出社するほうが良い場合もある。無理に強要するものでなく、必要に応じて行うことが出来れば良い。</li> <li>・自由に仕事ができる反面、業務時間の管理が申告制となるため、悪用されないか心配。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・強力に推進すべきだが、古い世代（50代以上）の価値観と合っていない。</li> <li>・テレワークできる職種はほぼ全て実施すべき。</li> <li>・するかしないかの判断を部署ごとに任せているようでは普及しない。</li> <li>・将来的にテレワークが徐々に普及していくのは間違いないので、遅いか早いかの問題。</li> <li>・個人の机をなくしていくような取り組みも必要。</li> <li>・とにかく成果をきっちりだせば、働く場所は関係なし。</li> <li>・体さえ入社していればよい（仕事をしているようでしていない）ということ無くしていく制度（成果主義）が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク手当（光熱費、食費補助など）がないので、する気はない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てをしているため、フレックスタイムと在宅勤務の組み合わせにより柔軟に業務時間を調整でき助かっている。</li> <li>・コミュニケーションの面で、まだ面着で話したことの無い他部署の人には急にチャットやWebでの音声通話がしづらい、上司に少し相談したいというときに、相談しにくいという面で効率が落ちてしまうため、仕事の効率という面ではテレワークは在社での勤務に劣ると感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑音がないので集中できる。</li> <li>・通勤時間がない。しかし反動で太る。</li> <li>・VPN環境で、会社にいるときと同じようにサーバ情報を取得できる。</li> <li>・ソフト開発用のソフトのライセンスで一部リモートで使用できないものがある。</li> <li>・職場の状況が、テレワークだとわからない。</li> <li>・社外の関係者との打ち合わせが前よりもしやすくなって、コミュニケーションがとりやすくなった。</li> <li>・会議室の予約が不要となった。</li> <li>・席で周りの人と別の打ち合わせをすると、その声がうるさく感じる時がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚過敏があるため、テレワークによって自分に不要な会話を耳にせず済むメリットはある。</li> <li>・チャットに関して、業務用途のはずがプライベートのそのノリで発信する人がおり、苦痛に感じるがあった。公私の使い分けの感覚を覚えることが今後の課題ではないかと思った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと普及に取り組むべき。</li> <li>・上司の方々は、家へ業務を持ち帰る頻度が増えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分以外のところの出来事が入りにくい。</li> <li>・入社していても、オンライン会議を多用しているためテレワークでのオンライン会議に抵抗がありません。</li> <li>・業務で設備を使用する必要があるため、入社しなければできない作業がほとんどで在宅勤務ができない。</li> <li>・通勤がないので、1日数時間の余裕が生まれるのは大変ありがたい。一方で評価に関してどの程度正しく見られているのか不安を感じる部分はある。</li> <li>・以前は家庭的な事情で数時間程度の用事のために年休を取っていたが、テレワークの導入によって年休を取得する必要がなくなり、逆に年休取得日数が減った。</li> <li>・現在新人の面倒を見ているが、コミュニケーションを取るためにテレワーク可能な日でもあえて出社している時がある。</li> <li>・上司も家庭的な事情でテレワークを活用しているので、自分がテレワークするのには抵抗はない。</li> <li>・冬の時期はテレワークで暖房代（電気代）がかさんだが会社からは手当がないのはやや不満。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークによって働く場所・時間の選択肢が広がることで従業員の満足度が向上したり、使い分けによって生産性も向上すると思います。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で、テレワークの浸透が大きく加速したと感じます。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークをする側だけでなく、テレワークをさせる側（上司）へもテレワーク実施時の状況をしっかりと認識（理解）していただくことをしないと、せっかくの良いツールが、上手に活用できない状況になると考えます。</li> <li>・前職場の室長ですが、車通勤をしているとの理由で、在宅勤務を実施していなかったため、在宅勤務時の状況を理解できていなかったと思います。</li> </ul>
<p><b>【例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅中、昼一からの業務をしているにも関わらず、業務をしていないと疑われた。（昼休みの時間には、ログオフしていたことがあり、恐らくタイムラグでステータス表示がオフラインになっていたと思われます）</li> <li>・メールの返信が一時間以内ないと、理由をいちいち確認される。スケジュールに入れていない状態で、GMとTeamsに相談していて、返信が出来なかったにも関わらず、説明を求められたりしました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家にPCを持ち帰ることで仕事とプライベートの境は無くなってしまったと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは出勤によるストレスがなく、業務への支障もないので、コロナ収束後も継続したいが、上司や周囲の反応が気になり。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理と健康維持に気をつけています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社でないとできない業務はほとんどなく、紙での書類決済のみ（外部委託先への納品受領確認書のサイン）。</li> <li>・テレワークでは新型コロナウイルス感染リスク回避と、通勤時間の往復2時間がなくなることにより時間が有意義に使えるメリットあり。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の業務内容によっては今のテレワーク状況とは全然違うものになっていたと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容によると思うが、現在の仕事はテレワークで従事可能であり、テレワークすることで生産性があがっていると感じている。</li> <li>・部下でテレワークができない家庭環境の者、テレワークを続けた結果、心のバランスがうまく取れない者が出てきた。</li> <li>・コロナ環境下、出社したくないという者もあり、どちらに対しても強要することは出来ないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方の自由度があがりやすい。</li> <li>・離業を挟むことでこれまでできなかった時間を有効に使えるようになった。</li> <li>・携われる業務の幅も増え、自身のスキルアップにもつながっていると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅だけでなく出社をしているときも部下の成果を把握する必要があり、同じだと思います。</li> <li>・在宅と出社で決定的に違うのは周りの人の会話情報が入ってこない事、何気に聞こえてくる情報も重要だったりします。</li> <li>・部下が疲れていないか顔色がつかめない事です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが収束しても、会社としてテレワークを推奨するような活動を継続して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが収束しても通勤時間の短縮や自動車で通勤しているので地球環境の事も考えると、これからもテレワークで業務を遂行していきたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視されている感がなく、気軽に仕事に取り組める。対人のストレスがなくなる上司に気軽に連絡がとりやすい静かな環境で集中できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク中の時間管理について、基本パソコンのon/offで正確にみることができればそれが最もよいと思うが、勤怠システム上、自己申告となっていると差異が生じて後に問題になることがある。</li> <li>・時間ではなく成果を管理することで、テレワークする側もプロ意識をもって自ら仕事ができるようになるのではないかと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い範囲でしかコミュニケーションが取れていないのがデメリットではあるが、生活の質は確実に上がり、家族との時間が確保できるのは非常にメリットと感じます。</li> <li>・一人での仕事は集中でき、効率は各段に上がっていると思います。</li> <li>・運動不足が今後心配はあります。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークと出社はバランスが重要だと思います。</li> <li>・部下からのヒアリングでも、どちらも必要との意見が多く、定型業務が多い人はテレワーク比率が高くなる傾向はありますが、1～2回／週は出社の必要があるとの事。</li> <li>・ちょっとした会話や出社したがゆえに得られる情報がありますし、個々の家庭の事情もあるでしょう。</li> <li>・私はワーク・ライフ・バランスをとるための手段の1つがテレワークであると考えていますので、個人の事情に合わせて、テレワークを活用できれば良いと考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークでは、集中力を高める為の工夫が必須であるとする（ヘッドフォンで外音遮断等）。</li> <li>・印刷が必要な場合、まだ弊社では出社するしか回答が無いので、一刻も早い対応が必要と考える（印刷が自宅で作出来れば、もっとテレワーク率も高まり、仕事の効率も全社的に高まると考える）。</li> <li>・電話対応で出社する、という対応も減らせるようにしたい。現在はteamsを使用しているので、原則teamsでやりとり出来るようになれば良いと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分である程度業務計画ができ、集中できる環境にあって業務遂行が出社時よりかなりできていると感じています。</li> <li>・このままテレワークが続けることが出来るとありがたいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングスペースを作るのが難しい。腰痛や肩首凝りが悪化した。通勤時間が無くなったのは非常に嬉しい。仕事の合間にちょっとした家事ができたり、宅配を受け取れるようになり助かる。昼休みに少し横になりたいときに車通勤の人はいいなあと思っていたので、テレワーク時は家で横になれるので嬉しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションが減るが、作業効率は良いので今後も続けたい。</li> <li>・テレワークの作業環境を今後は改善したいので、支援して欲しい。例えば、個室はあるがエアコンが付いていないので、夏場は部屋を移動する必要あり。</li> <li>・テレワークをやっていない人のテレワークへの理解活動をしてほしい。テレワーク＝楽しってる、サボりがちと思っている人がいる。笑顔で受け流すが腹立たしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内でも出社組／在宅組と別れており、業務の日程感に乖離を感じる。</li> </ul>
<p><b>【メリット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間の削減</li> <li>・必要最小限の会議、打合せ、会話による効率化</li> <li>・「ちょっと」と声掛けによる業務への影響減少</li> </ul> <p><b>【デメリット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの場の減少（部内・部外）</li> <li>・業務取組み姿勢への認知度の低下・現地状況の把握度低下（雰囲気、忙しさなど）</li> </ul> <p><b>【懸念点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社からの在宅勤務拡大推奨に対して、見掛け上は積極的な活用を促すも、在宅勤務でマイペースでのんびりと仕事をしている目で見られる発言をされる（在宅勤務推奨を守らず、出社して無駄な会話をして業務している方が〇）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族との時間が増えて有益に感じる。</li> <li>・テレワークが多く、会社に出社しない事により人事評価が下がるのではないかと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入社又は異動後に半年以上経過し、人間関係（人脈）が築けている場合、現場を持たない間接部門では、テレワークによるマイナスは少ないと感じる。</li> <li>・入社直後の新入社員の方などにとっては、新入社員から気軽に質問することが難しい、表情や実際に業務へ取り組む姿を見て（悩んでいる等を感じ）声掛けできないなど、マイナス面が多いと感じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食わず嫌いだったが、テレワークをしてみるとメリットがかなりある。</li> <li>・上司・部下とのコミュニケーションにも何の問題も感じないため、コロナ終息後もテレワークを基本としたい。</li> <li>・出社する時はテレワークではどうしても対応できない事態（健康診断、席替え、大掛かりな図面出図など）に絞っており、出社／テレワークのメリハリをつけている。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が削減出来て良いが、運動不足が顕著になった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間がなくなるので睡眠時間が確保できるのがよい。業務への集中力という意味で良い影響がある。</li> <li>・コミュニケーション面については、出社時に比べて明らかに効率が落ちる。</li> <li>・所属部署がコロナ禍で原則在宅勤務となっているが、基幹職を除いて本格的に在宅勤務を実施しているのは自分のみ。</li> <li>・出社しなければできない業務があることは理解しているが、それ以外に関しても出社しており理由を聞いてみたいところ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークにより、通勤時間が短縮出来たり、家の都合で家にいなければならない用事があるときに休みを取らなくても、数時間の離業で済むなど、フレキシブルな働き方が出来るというメリットがあります。</li> <li>・あまりメンバーと顔を会わさないで業務推進するのも難しく、適度な出社による面着が必要で完全なテレワークは難しいとも感じています。</li> <li>・会社のインフラ面などの課題も、当初に比べるとかなり改善されたとはいえ、まだ出社と同等とはいええず、業務内容によっては生産性が落ちることがあります。</li> <li>・総じて、完全出社に対して、コロナ禍により強制的にでもテレワークが実践され、働き方のフレキシビリティが上がったことはメリットも多く、コロナ禍が終わっても、完全出社に戻らず、引き続きある程度テレワーク継続される環境にあることを期待します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の仕事内であればテレワークで対応はできる。</li> <li>・転勤等で新しい職場に着く人は厳しい環境と想像できるし、上司や引継者も対面での仕事の伝達になってしまう。</li> </ul>
<p>テレワークには利点が非常に多いと感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間削減による時間の有効活用（自己啓発時間アップ）</li> <li>・集中できる環境による業務効率アップ</li> <li>・経費削減（衣類等の消耗が減る）</li> <li>・家庭の突発事象に対応可能</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数年前に病気を患い、その後遺症により頻繁にトイレに行かなくてはいけなくなり、テレワークであると好きなタイミングで自宅のトイレに行ける利益が大きい（会社だとトイレが使用中の確率が高く、身体面と精神面での負担が大きい）。</li> <li>・介護面でのテレワーク優遇は認知されているように思えるが、自身の身体面によるテレワーク優遇も広まってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前から介護理由でテレワークを実施していたが、今後は介護・子育て、様々な理由で必要不可欠な制度と感じている。仕事と介護の両立は、本当に大変。テレワークであっても、自分の時間はほぼ無しの状態が続いており、時間もかなり少ない。そんな心理状態の中で、職場（特に上司）にテレワークや介護についての理解がないと、精神的に追い詰められて、孤独感に押しつぶされそうになる。以前の職場がそうであったため、私は異動願いを出し、現職場についた。今は、かなり気持ちが楽になり、仕事への意欲も出てきている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークで働くようになったことで、移動時間というものが非常に無駄な時間であると感じるようになった。</li> <li>・テレワークすることが前提のライフスタイルに変わったことで家族と過ごす時間が増え、非常に満足している。</li> <li>・便利な場所にサテライトオフィスが用意されれば、必要な場合に面着で働くメリットも享受でき、より生産性が高まると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤分の時間が有意義に使えるため、今後もテレワークOKの風潮が続いて欲しい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自職場では上司（グループ長）の考え方によって採用出来るか出来ないかが分かっている。</li> <li>・対面でないと効率が下がると思っている上司だとテレワークがしにくい。</li> <li>・本来はなぜ効率が下がるのかを考えて対応を考えれば良いだけだが、それを考えられるかどうか導入可否の分かれ目だと思う。</li> <li>・個人的にはテレワークで不便を感じることは無く、入社時にも結局音声通話で画面を共有しながら同僚と話したりもしている。</li> <li>・テレワーク導入後育児に参加する機会も増え、家族からは「以前とは全くの別世界」と喜ばれているので、コロナ後も現在の働き方を継続していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに必要な追加インフラの整備をお願いします（印刷、社外との電話など）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても有効に活用できています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークが普及したことにより、色んな選択肢が増えた。今後、どのように働くのかという議論がされて、効率的で、会社、個人にも有用な手段として、どんどんレベルアップしていくことが望ましい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いいところと悪いところがあるので、使い分ければよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無くなるため、時間を有効活用でき助かっている。今後もテレワークを積極的に活用したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと通信インフラを整えれば、より簡単にテレワークができるのに、と思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・転勤になった際もテレワークを活用することで居住地を自由に選択できるようになって欲しいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク自体は今後も続けていけばよいと思う。</li> <li>・週3回を超えると業務に支障が出やすいと感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせメモや議事録を発行する習慣がついた。</li> <li>・情報共有の意識が高まった。</li> <li>・会議室の探す時間、移動時間が減り、時間を有効に使えるようになった（家族との時間が増えた）。</li> <li>・仕事の時間が増える傾向があり、時間を意識するようになった。</li> <li>・部下へのフィードバック、会話をする機会も増え、困りごとが良くわかるようになり、指導しやすくなった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークで享受できるメリットも多いが、デメリットも少なからず存在しますので、デメリットの解消については個々の課題ではなく会社全体で協議していきたいと感じています。*モチベーションの維持・向上、管理職の残業増、インフラの改善など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む地域を変えたいので、希望者はテレワークのみの職場に異動できるようにして欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインがテレワークとなり、通勤時間が減ったこと（往復3時間）が非常に良かったと感じているし、あんなに無駄な時間なかったとさえ思っている。</li> <li>・間接部門はテレワークが主流となってきている為、ぜひとも継続してほしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムマターによる業務停滞が多い。</li> <li>・ネット環境や在宅に必要な環境の構築について、会社のサポートがないのは気になる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークは家庭環境、通信環境などでまだまだコミュニケーションがとりづらいと感じる。</li> <li>・若手の指導、育成がテレワークではやりにくいと感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前から会社制度として存在していて、実際にそれを利用できたので、コロナになってもすんなりと対応できた。</li> <li>・かれこれ3年になるが、昼休みにちょっと庭仕事をしたり、これまで土日に言っていた通院が平日にできたり、子供と一緒に過ごす時間が増えたことは非常に大きい。</li> <li>・管理職として部下の管理がしづらくなった部分はある。</li> <li>・単身者のメンタル維持が心配で、積極的に声をかけたり出社を促したりしているが、社会的に閉塞感が漂う中、孤独感は払しょくできていないんだろうな、と思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の世話なども含めて、時間を有効に使えるため、継続して利用したい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤に往復2時間かかっていたのが、なくなるとその分業務に充てられる、</li> <li>・朝6時から7時まで1時間早く業務を行うなど、働ける時間に働けることができありがたい。</li> <li>・子供のお迎えに早く行ける、子供との時間に充てられる、子育て中に身にはありがたく、うれしいことばかりです。</li> <li>・上司や周りの同僚も理解してくれているので、仕事もやりやすく、認めていただいている分、仕事で返したいとモチベーションも上がります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率UP+通勤時間削減が行えるため、時間が有効に使える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中のできる環境でし続けたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の評価に、勤務態度など反映されない、PCを使いこなし情報に強い人が評価され、モノづくり現場の働きと格差が生まれる。</li> <li>・頭がでかくて動く手足が弱くなり、現場モノづくりが衰退しないか心配。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに適した職種なのでテレワークのメリットを享受できていると思う。</li> <li>・過度の期待をしなければ、働き方としては現状でも十分満足できるレベルである。</li> <li>・他部署とのプライベートな交流が皆無となってしまい異動のチャンスは減ると思われる（当社の実情として本人が根回ししないと希望通りの異動ができないため）し、勤務内容・成果の正しい把握と評価がされないために、昇進にも支障が出る可能性はあると考える。</li> <li>・職場の課題や無能な上司の存在の顕在化が難しくなり、結果としてプア・マネジメントが野放しとなる。ますます職場課題の解決・改善が遅れることとなり、非常に問題だと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役職や年齢が上がるほどにテレワークに対して否定的（自ら率先しない）な人が多い。上記は、管理職は非常時こそ出社といった今回のウィルス拡散防止観点に合わない考え方から出た発言であった。</li> <li>・会議は役職が上の人が集まるほどに面着になる。役職や年齢が上がると自分から新しいシステムに慣れようとししないし、工夫しようとししない。</li> <li>・テレワークでは勤務態度を知ることができないので、手を抜いてもわからない。人事評価基準を不公平のないように整備する必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間が無くなり時間を有効的に使えるのでとてもいいと思う。また人間関係においてもストレスが軽減される。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社からの配布物が自宅に送付される環境が無い為、改善して欲しいと考えている。</li> <li>・配布物のみを受け取りにわざわざ出社するケースがあるが、配布物だけを受け取って退社する事が出来ない為、自宅に持ち帰っている重いPCを持ち運び、自宅でも出来る仕事を職場でわざわざ作業するというような無駄な事をやっている。</li> <li>・コロナ下においても不要な外出は避けたい為、デジタル化できない部分に対しても考えなければならぬ問題が残されていると考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間がないのは体力的に楽、但し人間関係は希薄になる。それもストレスの軽減にはなるが、一旦業務や人間関係で問題が発生した場合には余計に煮詰まる可能性がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司の指示が事務的になり、こちらの事情を考慮しないようになった。</li> <li>・自分としては家庭の事情もあり、今後もテレワークを活用したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人はマニュアル（しくみ図）から習得できない。</li> <li>・仕事の進め方、完成車メーカーの考え方、モノの造り方などのノウハウを知る機会が減っている。</li> <li>・このままでは「致命的なやり直し」が発生する恐れがある。</li> <li>・「テレワークを止めて効率化」「面着に寄る信用獲得」の戦略に変わった競合他社が、勝利するかもしれない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料だけではわからないことがたくさんある。現地現物で調査をする必要がありテレワークだけでは不十分。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク出来る職場、業務内容であれば、テレワークは推奨すべきと認識しています。</li> <li>・室長・部長含め上位役職の方が率先して実施しないので、浸透するのは困難かと思っています。</li> <li>・在宅勤務=業務効率の低下・遊び感覚という概念が根付いているようです（一般の方でも、在宅勤務という言葉に慣れていないと思われます）。</li> </ul>

<p>・テレワークはコロナ禍では必須の業務形態です。これからどんどん発展する可能性のある業務の仕方になるので、少しでも本アンケートがテレワークが便利になることに使用されることを願います。</p>
<p>・仕事のモチベーションを維持することが難しい。</p>
<p>・会社や部内の動向がわかりにくくなっている感じはしますので、情報展開・Web会議などを増やして欲しいです。</p> <p>・子供が小学生の時は、『ただいま!』と帰ってくる声が聞けるようになったのでとても嬉しかったです。</p>
<p>・印刷やスキャンができないのが不便。</p>